

# 平成30年度 伊勢地域公共交通会議 第5回 議事要旨

## ■開催概要

日時：平成31年1月16日（火） 18時30分～20時10分

場所：伊勢市役所東館 5-3・5-4 会議室

出席者：全15名

学識経験者

2名（名古屋大学大学院環境研究科教授  
・近畿大学工業高等専門学校総合システム科准教授）

市民代表 2名

一般乗合旅客自動車運送事業者

1名（三重交通株式会社バス営業部部长（乗合））

一般旅客自動車運送事業者

1名（三重県タクシー協会伊勢支部長）

一般旅客自動車運送事業者の用転が組織する団体

1名（三交伊勢志摩通労働組合 執行委員長）

鉄道事業者

2名（東海旅客鉄道株式会社 東海鉄道事業本部  
・近畿日本鉄道株式会社 宇治山田駅長代理）

中部運輸局三重運輸支局

1名（主席運輸企画専門官）

三重県 1名（地域連携部交通政策課長）

伊勢市 4名（市長・産業観光部理事・健康福祉部部长・都市整備部部长）

事務局 5名（伊勢市都市整備部交通政策課）

## ■議事内容

### ■平成30年度 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

事務局及び三重県より、平成30年度 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について、資料を用いて説明。

中部様式について、全体的にはいいと思うが、調査の内容をアピールポイントにするのは珍しい。悪いわけではないが、このような公共交通網を目指す中で、この調査が必要だった、これが狙いどころだったというのが分かるようにすると良い。

また、国の様式の別添1-2の内容が少しさみしい。国はこの様式だけで判断する。伊勢市には観光もあるので、今の網形成計画の中で、どのような路線網やサービスを提供しようとしている、その中で幹線系統やフィーダー系統を位置づけているというのを書き足しても良いと思う。（学識経験者）

⇒三重県からの説明の内容も踏まえ、修正できればと思う。（市長）

全体的に少子化の影響による通学需要の減少や、人口の減少による利用者の減少があると思う。南島線や中川線の利用者が増加しているのは、通学定期を値上げした影響もあると考えられる。松阪伊勢線は旧小俣町から伊勢市中心部への利用が中心であり、明和町や松阪市の利用は非常に

少ない。

玉城線との統合、再編の検討を進めているが、うまく調整が進んでいないため、一旦仕切り直したいと考えている。

土路今一色線も厳しい状況であり、運転手の賃金や燃料費等の直接経費も賄えなくなってきている。(一般乗合旅客自動車運送事業者)

⇒定期の値上げによる利用者の増加というのは、正確には乗車密度の話ではないか。乗車密度は料金収入の額をもとに正規運賃を1.0として利用者数を算定したものであるため、料金収入が増えれば多くなる。(学識経験者)

⇒その通りである。実利用者はほぼ横ばいであるが、定期料金の値上げによる収入増の影響である。(一般乗合旅客自動車運送事業者)

平成30年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について、本日の意見を基に事務局において修正、対応するものとし、承認をいただいた。

## ■ 自家用有償旅客運送（沼木地区自主運行バス）の更新登録について

事務局より、自家用有償旅客運送（沼木地区自主運行バス）の更新登録について、資料を用いて説明。

軽微な事故件数がいくつかあるが、これは同じ運転手によるものなのか。

最近では運転手の高齢化も進んでいるとされているが、最高齢の方は何歳か。また、運行開始当初から同じ運転手なのか。(学識経験者)

⇒うち1名の運転手が2件事故を起こしているが、その他は別々の運転者である。最高齢は71歳となっており、平均で68歳である。運行開始当初からは何名かが入れ替わっている。(事務局)

⇒近年、高齢者による事故が取り沙汰されており、定年制の導入も考えられるが、71歳であればまだ大丈夫だと考えられる。(学識経験者)

利用者が月に300から400人程度で推移しているが、これをタクシー車両に変更すると運行経費はどのようになるのか。(市民代表)

⇒現在、タクシー事業者の活用も含め再編を検討しているが、あくまでも試算ではあるが、現在よりも安価になると考えられる。(事務局)

⇒今後、それぞれの路線で費用がどの程度になるのか、検討の中で精査していく。(市長)

平成30年度について、月々の利用者が例年よりも減少している要因を把握しているか。(学識経験者)

⇒分析はできていないが、地域からも利用者が減っているという話は聞いている。(事務局)

自家用有償旅客運送（沼木地区自主運行バス）の更新登録について、手続きを進めるということで承認をいただいた。

## ■ 市内循環バス社会実験運行の利用状況等について

事務局より、市内循環バス社会実験運行の利用状況等について、資料を用いて報告。

1月14日までの最新の状況であるが、1便平均は報告のあった1月10日までの状況とあまり変化はなく、右回りと左回りの利用者数の方よりも無くなってきている。

利用の多い時間帯は、第4便から第6便のお昼前後の時間帯であり、第1便や第2便などの病院利用は少ないことから、病院利用をPRする必要があると考えている。

乗継割引券の利用はバス相互で88枚、鉄道で43枚と、約130枚の利用があった。また、乗り継ぎは、二見や鹿海などからが多く、ララパークでの路線バスとの乗り継ぎも見受けられる。ただ、乗り継ぎ割引きについては、利用方法について運転手の混乱もあったため、対策が求められる。

運行開始日の1月4日は、パーク&バスライドの実施に合わせたバスレーンの設置もされていたが、誘導員を配置することで無事に運行することができた。ただ、大きな遅延が発生し、運転手の連続運転時間の制限もあるため、運転手は各便2名体制で運行することになった。このような状況を踏まえ、次年度以降の運行がある場合には、遅延が発生しやすい時間帯の便を運休するなどの対応を考える必要があるのではないか。

1月5日は最大で23分の遅延が発生したが、1月6日以降は、最大でも10分前後程度であり、ほぼ遅延は発生していない。（一般乗合旅客自動車運送事業者）

⇒鉄道との乗り継ぎ割引の利用が43名もあったということで、この割引きに協力できてよかったと感じている。本日も伊勢市駅で乗継割引券の状況を見てきたが、かなりの枚数が取られていた。ポスターも複数枚掲示させていただいたが、もっとこのようにしたらどうかなどご意見があれば知りたい。（鉄道事業者）

⇒乗り継ぎ割引の実施やポスターの掲示への協力については、非常に感謝している。（市長）

赤十字病院について、入口にもポスターを掲示するなどもっとアピールをしてはどうか。

また、チラシなどの文書では分かりにくいので、これからの時期、各地域で老人会の会合が開催されると思うが、こちらから赴いて言葉で直接アピールするのが一番効果的だと思う。（市民代表）

中之町は三重交通の市内線も運行しているにも関わらず利用が多いのは、ララパークや伊勢市駅、赤十字病院など行先が良かったからではないかと思う。

PRについて、市内循環バスが自分の住んでいる地域で運行していない地域の中には、自分には関係がないと考えている方も多い。そうではなく、乗り継ぎなどでララパークなどにも行きやすくなっているので、そのようなピンポイントのバス停における乗り継ぎ利用の方法などをアピールしてはどうか。（市民代表）

⇒PRについて、現在、医師会、薬剤師会においては、ポスターの掲示に協力していただけたとの回答を得ているので、近いうちに各病院にも掲示される。また、ララパークについては、コラボ企画について提案したが、非常に前向きな感じであり、今後調整していきたい。図書館や市役所などの公共施設、市の会合の際にもアピールはしている。その他、伊勢市内を運行する三重交通の路線バス車内にも掲示できるよう調整している。（事務局）

市内循環バスのバス停から400mを赤色、800mを青色で円を描いた図面を前方に掲示しているが、利用をPRする範囲として、利用圏域はバス停からどの程度の距離までなのか。（市長）

⇒一般的には300mが多いが、道路の状況や地形によっても変わってくる。また、駅であれば800mと言われている。本数が多くなれば利用圏域も広がると考えられるが、この400mの赤色の円内ぐらいで重点的にPRするのも良いと思う。（学識経験者）

検討時は、中之町はあまり利用がないのではないかと考えていたが、実際には利用が多く、利用が多いと思っていた赤十字病院の利用が少ない。

運行開始日に右回りに乗車したが、反対の左回りの浜郷小学校前バス停では10人ぐらいの方が待っていた。おそらく試しに利用しに来た方だと思われるが、このようなお試し利用を狙って仕掛けるのも効果的である。

病院については、かかりつけ医もあるため、利用が増えるには時間を要すると考えられる。

右回りよりも左回りの方が利用が多い原因は何かあるのか。右回りの方が交差点において右折が多くなるため、遅延も大きくなりやすいことも影響しているのではないかと。（学識経験者）

⇒1月5日の状況であれば、左回りの方が遅延が大きくなっている。また、1月12日からの3連休の状況で見ると、最大の遅延が左回りで8分、右回りで6分と差はあまり見られない。（一般乗合旅客自動車運送事業者）

⇒中之町からララパーク方向の利用が多い。行きはバスで帰りは別の交通手段というパターンも多いと考えられることから、どこかのタイミングでOD調査をすると良い。（学識経験者）

もっと病院利用が多くなると考えていたが、市立病院も含め利用が少ない。買い物利用は多いようなので、病院利用に対するPRの方法を何か考えないといけないのではないかと。（学識経験者）

⇒病院利用が少ないのは、市立病院は予約制であり、まだ運行が始まったばかりで、今までなかった交通手段であるため、予約の際の選択肢に入っていないのではないかと。周知が広まれば、徐々に利用は増えていくのではないかと。（市民代表）

1月6日に利用したが、イオン伊勢店やララパークでの利用が非常に多かった。また、意外に若い方の利用も多く、買い物利用だと思われる。（中部運輸局三重運輸支局）

伊勢市駅で近鉄を降りて跨線橋を渡っていると、正面に市内循環バスのポスターが掲示されており、すごく目立つので非常にありがたい。鉄道との乗り継ぎ割引は、ICカードを活用した例はあるが、このような方法で実施した例はない。今後も改善しながらやっていただければと思う。（学識経験者）

⇒鉄道事業者の協力には感謝しかない。（市長）

## ■ その他

鉄道事業者より、山田上口駅の建て替えの報告と、さわやかウォーキングの開催について周知。

事務局より、市内循環バス社会実験について、3か月の延長し、8月末までの運行とすることを今後議会へと予算要望していくことを報告。

山田上り駅の駅舎は歴史ある建物であるが、駅名看板はどのように取り扱うのか。（市長）

⇒現在、伊勢市とも市への譲渡について調整中であり、ぜひ飾っていただければと思う。（鉄道事業者）

⇒玉城町からは田丸駅駅舎は残して欲しいとの話を聞いている。（市長）

⇒今後、玉城町とも調整する予定である。（鉄道事業者）

さわやかウォーキングに定員はあるのか。（市民代表）

⇒定員はない。伊勢市駅での開催は、例年1,500人程度の参加がある。（鉄道事業者）

以上